



女子決勝 浦添ーコザ 前半、相手守備をかわしてシュートする浦添の宮城美季(25日、八重瀬町の東風平運動公園体育館(渡慶次哲三撮影))

9月の県高校選手権と同じ顔合わせとなった女子決勝は、再び浦添がコザを退けた。県高校新人大会優勝は10年ぶりという快挙だが、「全国制覇」の高い目標を掲げる選手たちにとっては通過点。歓喜もそこそこにミーティングで課題を洗い出し「普段の練習からしっかりとやっつけよう」と声をそろえた。

これまででは出だしがうまくいかないことが多かったという。「入り方を大事に」と臨んだこの日は、前半だけで9点のリードを奪った。選手が連動しながらポスト、サイドと相手守備陣の隙を突いて得点を量産。もらった瞬間、球をはしくようにパスするタップパスなど技術の高さも光った。守備でも、素早くマークす

## 浦添10年ぶり頂点 後半失速が課題

る選手を変えろなど足を生かし、簡単にシュートを打たせなかった。

反省点は後半の失速だ。声を出してチームを引っ張った副将の宮城美季は「点差が付いて、気持ちが緩んだかもしれない。声が出ていなかった」と振り返る。

中学時代に県選抜メンバー入りした選手がそろいバランスが良い。「課題があるということとは成長できるということ。プラスに変えて頑張ろう」とミーティングで呼び掛けた主将の安里こころ。春の全国選抜大会につながる12月の琉球新報旗争奪九州高校選抜大会真予選に向け「今度は堂々と胸を張って優勝したい」と笑顔で誓った。(大城周子)

# 女子浦添、男子は興南

### ☆ハンドボール

【男子】

(八重瀬町東風平体育館)

▽3位決定戦

具志川商 26(12|14) 14|11 25 那覇西

▽決勝

興南 35(15|20) 17|9 26 コザ

【女子】

▽3位決定戦

那覇国際 21(9|8) 12|12 20 浦添商

▽決勝

浦添 26(12|14) 15|19 コザ

## 負けられない自信 追従を許さず

男子・興南

○：男子は王者・興南が7連覇。今年の全国高校総体を制したチームとして負けるわけにはいかない。下地利輝主将は「新チームとして2度目の大会。まだ気は抜けないがほっとしている」と息をついた。



男子決勝・興南ーコザ 前半、シュートを決める興南の伊舎堂博武

スピードあふれるステップで切れ込み、攻め立てた。GK宮城史芽の好セーブもあり、前半は20ー9と大量リード。後半は、流れが悪くなった時の立て直しなど精神面の弱さが出たが、追い付くことは許さなかった。

2011年のジュニアオリンピックカップで県選抜として全国制覇を経験した世代で、個々の能力は高い。

黒島宣昭監督は「前チーム」とした上で、「底上げが課題が伸びてこない」と全国は厳よりレベルは高いと思つ」と題。8番手、9番手の選手「しい」と成長を願った。